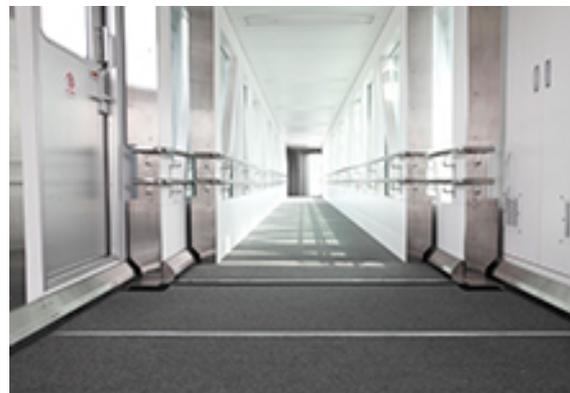


○移動等円滑化取組方針・計画について 2019年度

- (1) 旅客施設等の整備に関して
より高い水準のバリアフリー化を目指して取り組みます。
- (2) 旅客施設における支援、必要情報の提供等に関して
施設対応、人的対応を含めて、お客様にサービス提供いたします。
- (3) お客様からのご意見、有識者のご意見を参考として、今後もスタッフの教育、施設運用、改修等について実施をいたします。



○具体的計画内容について

① 旅客施設・備品等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために

ステップレス搭乗橋について	国際線ターミナルの拡張部分において、ターミナルと航空機をつなぐ搭乗橋は車椅子使用者等がスムーズに移動できるよう段差のないものを設置します(2019年度)。
---------------	---

② 公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

案内表示について	デジタルサイネージを利用した多言語案内を設置。
点字ブロックについて	点字ブロックを剥がれにくい仕様に順次改修

③ 情報提供

ホームページ	ホームページによる介助サービス、施設案内の情報提供
	JIS規格のウェブアクセシビリティが確保されたサイトの構築。

④ 教育訓練

サービス介助士の資格取得について	案内所スタッフについては『サービス介助士資格』を取得するようにします。
手話対応について	案内所スタッフの手話検定受験等、技能の習得・向上を図ります